

# 農地・水・環境だより [第29号]

## [栃木県多面的機能支払交付金通信] 平成29年9月



**学校教育との連携 田植え**  
夢・はにしの里協議会 壬生町

**生き物調査風景**  
柴地区環境保全会 下野市

### 多面的機能支払交付金 平成28年度の実績状況

農地維持支払交付金：取組面積 43,033ha (11位)、カバー率 40% (25位)  
 資源向上支払交付金【共同】：取組面積 32,064ha (15位)、カバー率 28% (31位)  
 資源向上支払交付金【長寿命化】：取組面積 11,314ha (22位)、カバー率 11% (34位)

※カバー率…農業振興地域内農用地面積に対する交付対象面積の比率  
 ※括弧内は全国における順位

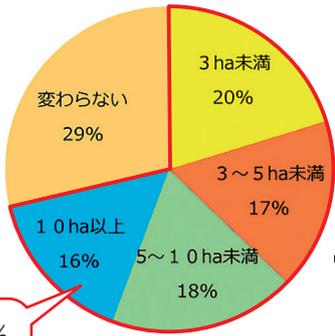
カバー率は  
関東1位まる!



### 多面的機能支払交付金の効果 (平成28年度アンケート調査結果)

#### 農地集積 (対象：354 組織)

約 70%の活動組織が多面的機能支払交付金の取組により面積が増加したと回答しています。



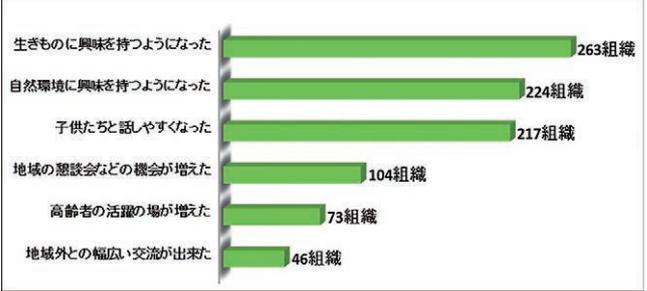
約70%

担い手の  
負担も  
軽減まる!



#### 生きものの調査 (対象：325 組織)

子供たちの環境学習や地域コミュニティの醸成などに効果を発揮しております。





## 平成29年度 多面的機能支払交付金に係る活動組織説明会を開催

活動組織の円滑な組織運営や活動の質的向上を促進し地域の活性化に資するため、活動組織の代表者・事務担当者等を対象とした説明会を開催しました。活動組織や土地改良区等から延べ1,500人以上に参加していただき、多面的機能支払交付金における本県の取組状況や協議会の推進スケジュール、活動における留意事項等について説明を行いました。

今回の説明を今後の活動におおいに役立てていただければ幸いです。



大久保寿夫会長より挨拶



## 平成29年度 主な制度の見直しについて

### ①経理区分の一本化

金銭出納簿や通帳について、これまでは「資源向上支払（長寿命化）」と「それ以外」を分けていましたが、一本化して管理することが可能となりました。

### ②農地維持支払及び資源向上支払（共同）による施設の長寿命化のための活動の実施

活動組織が、農地維持支払及び資源向上支払（共同）により実施するとして活動計画書に定めた活動を適切に実施した場合、施設の長寿命化のための活動を実施することを可能とする。

（※市町との事前協議、事業計画変更等の手続きが必要となります。）



### ③畑地化した田の単価の経過措置

事業計画期間中に田を畑地化した場合には、農地維持支払の交付単価については地目変更後も田の単価が適用されることとなりました。（※事業計画期間中に限る。）

### ④多面的機能の増進を図る活動における広報活動の要件化

平成29年度以降に資源向上支払（共同）の「多面的機能の増進を図る活動」に新たに取り組む組織は広報活動を実施する必要があります。（※中山間地域等において活動する組織は除く。）

#### 【広報活動の内容】

- 1) チラシやパンフレットの配付・掲示
- 2) 看板やポスター等の設置・掲示
- 3) ホームページの開設・更新
- 4) 行政機関や関係団体等の広報誌やホームページへの掲載
- 5) 各種イベント等での活動内容等の紹介
- 6) その他、これに準ずる広報活動



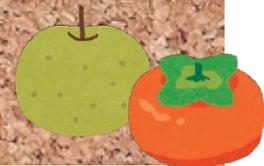
パネル展示



PR看板設置

# 組織の活動紹介

県内で取り組む組織の活動について紹介します。



## ◇富屋西部ホタル愛護会 『宇都宮市』：ホタル愛護を通じた学校教育との連携

この地域に昔から生息していたホタルの保護を含めた生態系保全の取組をしています。富屋小学校の3年生の児童たちへは、総合的な学習の時間を利用して年間8～10回の学習会や校内での飼育観察、幼虫の放流、ホタル発生観察会を実施するなど、一年を通して学校教育との連携を図っています。これらの活動により、子供たちも環境・生態系保全に強い関心を持ち始めており、ホタル研究所見学時には熱心にノートを取る子供たちの姿が見られました。池田事務局長も「ページいっぱいのメモから熱意が凄く伝わってきた」と嬉しそうに話してくれました。

地域全体で生き物と一緒に住める環境作りに貢献しています。



入江会長による学習会



自分達が飼育、放流したホタルが飛んでいる姿を見られて嬉しかった。感動した。



## ◇あがたんぼの会 『足利市』：農地集積に貢献



足利市南西部に位置し、昭和30年代の耕地整理によって整備された水源に恵まれた地区です。長年水路に堆積した土砂に苦慮していた地域ですが、多面的機能支払交付金を活用した地域の共同活動により、人力では困難な場所では重機での土砂撤去・畦畔の除草作業が行われ、用排水路が本来の機能を取り戻しました。担い手の方からも「自分で借りた土地に隣接する用排水路の管理のみでは、なかなか水が流れて来ない状況だったが、水路の状況が一変した。とても助かります。」との声がありました。現在、栃木県の平均集積率は49.2%ですが、本地区では現在75%と非常に高い集積率となっており、本年度も集積率5%アップを予定しています。多面的機能支払交付金による取組で借りやすい農地が整備され、集積率アップに大きく寄与している状況です。

活動前



活動後





## 「電気の地産地消」の取組について ～スマートビレッジモデル形成事業の紹介～

県では、小水力や太陽光などの身近な再生可能エネルギーで発電した電力を農業や農村協働活動、都市農村交流等に利用する「電気の地産地消」の普及を進めています。

平成28年度は、多面的機能支払交付金の活動組織（飛山夢大地倶楽部、みたとうぶ保全会、小林3・4区ユートピア）において、再生可能エネルギーによる電力の活用を想定した協働作業を実施しました。



電気をつくる  
(小水力発電)



電気をはこぶ  
(電気自動車)



電気をつかう  
(電動草刈機)

## 県協議会からのお知らせ



### 「田んぼまわりの生きものマップ」コンテスト 「とちぎの豊かな農村づくり」写真コンテストを実施します！



- 応募期間：平成29年9月1日（金）～平成29年10月31日（火）
- 応募方法：応募作品裏面に作品応募票を糊付けし、市町の担当部署へご提出ください。  
平成30年2月6日（火）開催予定の啓発イベントにて表彰予定です。
- ※詳しくは県協議会HPをご確認ください。



たくさんのご応募お待ちしております！！

### 今年度も全市町を対象に中間確認協議を実施します。

- 日程：平成29年9月～12月（予定）
- 平成28年度実施状況報告書、活動記録、金銭出納簿、領収書、通帳(写し) 等を確認予定です。
- 詳細につきましては、市・町担当者を通じてお知らせいたしますので、ご協力をお願いいたします。

### 安全管理の徹底を！～事故を未然に防ぐために～

- ・活動前日までに、複数名で現地の下見を行い危険箇所等を分かりやすく表示しておきましょう。
- ・参加者の年齢、体力、作業の熟練度、当日の健康状態などを確認し、適切な作業分担・配置を行いましょう。
- ・熱中症予防のため、休憩と水分補給をこまめにとりましよう。
- ・緊急時に備え、緊急連絡表を作成し全員で確認しておきましょう。

